

令和 8 年度事業計画

令和 7 年度から始まった第 3 次山田まちづくり計画の 2 年度目となるが、当協議会として令和 8 年最も重要となる事は、秋に計画されている新山田まちづくりセンターへの移転である事から、移転準備と新センターのスムーズな運用に向けて開設準備委員会並びに総務委員会を中心に取り組んでまいります。新センターは「笑顔のまち、住みよいまち、やまだ」という山田学区まちづくり協議会のテーマの根幹となると考え、「自分たちの地域は自分たちでつくる」ためのベースと位置づけ、「防災・防犯、安全環境、健幸、後継人材の育成と学区内の様々な人々を繋ぐ絆づくり、組織の活性化」に対して新たな一步を踏み出せるよう取り組みます。

【重点事項】

《新まちづくりセンター開設》

令和 8 年秋に予定されている新山田まちづくりセンターのオープン準備について開設準備委員会で検討を進め、総務委員会を中心とした理事全員と一緒に準備を進めてまいります。また、オープン後の新センターの目玉である販売許可付きキッチンや他の市内センターに無い規模の交流スペースの有効活用に向けて、まち協を構成していただいている多くの方々と市役所関係部局と連携、協力し機能性に富んだ拠点作りに取り組みます。

- ① 新センター活用の仕組みづくり
- ② 新センターへのスムーズな移転と現センターの引き渡し
- ③ 新センターを取り巻く環境整備に向けての提案

《山田学区防災対策の見直しと充実》

新センターへの移転に伴って、様々な観点からの山田学区防災対策の見直しについて防災グループを中心に進めてまいります。

- ① 学区防災本部機能の充実と消防団、各自治会防災組織との連携強化
- ② 学区防災計画の見直しと学区民への周知
- ③ 防災意識の向上に向けての取組

《各種団体間連携への支援と後継人材の育成》

昨年の拡大総務委員会においての各団体が抱えている課題や意見に基づいた団体同士の結びつきを強化するための事業支援や共通課題と言える将来を担うべき人材の育成の在り方について、総務委員会を中心として意見交換し継続可能なま

ち協としての育成方策について検討を進めてまいります。

- ①重複する事業に関しての団体間の連携をコーディネートする
- ②各団体へまち協として取り組んでいただきたい事業の提案と支援をおこなう
- ③地域社会の将来を担う人材育成の在り方についての検討していく

《組織体制の強化にむけて》

現在の山田学区まちづくり協議会については、各グループ制によりその事業展開が進められてきたが、実際には活動ができていないグループもあることから、組織体制、運営方法、会則などの多岐にわたる見直しを新センターへ移転するこの時期だからこそ取り組むべきだと考えています。よって、以下の4点について三役会並びに総務委員会で検討して、よりよい組織づくりに取り組んでまいります。

- ①グループ制の見直し
- ②理事の役割の見直しと明確化
- ③現状に即した会則等の見直し
- ④新センターに合致したまち協の事業検討

以上、4項目を令和8年度の活動の柱として、学区内の様々な力と知恵を集結し取り組んでいきたいと考えておりますので、理事、評議委員の皆様をはじめ関係各位のご協力とご支援をお願い致します。。